

会報

2012 ▶ 2013
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

留萌
ロータリークラブ
会長目標

ロータリーを楽しく・
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

プログラム

- 本日

各委員長 退任挨拶	会員誕生日
	6月13日 佐々木 繁
- 次週予定

理事・役員 退任挨拶	配偶者誕生日
	6月12日 長谷川幸江
	6月16日 宮尾 美穂

No. 2561

第45回 6月12日

出席報告

前
例
会

会員総数	42名
出免会員	9名
出免出席	5名
基準会員出席	22名
出席率	81.81%

前
々
会

第42回 5月22日

欠席会員	12名
内メイクアップ	5名
修正出席率	81.57%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🔪 会長報告

1. 5月30日第12回定例理事会並びに新旧合同理事会を開催しました。6月プログラムと最終夜間例会予算案、職業分類の改定と会計報告について承認いたしました。

📖 幹事報告

- ・赤平RCより会報を受領しました。
- ・深川RC、妹背牛RCより6月例会案内と会報を受領しました。
- ・今年度もあと僅かとなりました。委員会活動も終了された委員会があると思いますので、活動の報告書を提出してください。

👤 委員会報告

IMお礼 清水ガバナー補佐
晴天の下開催されましたIMは皆様のお力添えで無事終了することができました。会員皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。高田実行委員長を中心に数度の会議、打ち合わせのお陰で他クラブ、細川ガバナーよりお褒めの言葉をいただいた事を報告いたします。

IMの目的、ロータリーを学び知識を広げ、相互の信頼を深める。これは会員皆様のお力で達成されたと思います。また、各クラブ、来賓各位への礼状も発送済みです。今後は各クラブへの最終挨拶回りが13日、19日、25日で、地区の最終会議新旧引継ぎが14、15日でございます。無事に終われるよう務めていきたいと思っております。

第44回 6月5日(水) 天候/晴

最後にIMにご協力いただきました会員皆様に改めまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

例会運営委員会 対馬委員長

6月12日が各委員長退任挨拶、19日が理事役員退任挨拶を予定しております。挨拶を依頼された委員長さんは欠席をしないようお願いいたします。都合の悪い方は、日程調整を行ないますのでお知らせください。

広報・会報委員会 堀委員長

本日配付した会報は前回分です。IMは特集号として後で皆様にお渡しいたします。ご了承ください。

愛好会

PC愛好会 田中会員

6月19日午後7時よりワンポイントにて講習会を開催いたします。外部講師の謝礼も含め参加費は3千円です。多数の参加をお待ちしております。

麻雀愛好会 齋藤愛好会会長

6月5日に大会を開催しました。結果は次の通りです。

優勝	鈴木会員
準優勝	大嶋会員
1位	遠藤会員

3分間情報

会員研修委員会 福士委員長 「ロータリー財団の歩み」

- 1917年RI元会長アーチC. クランフにより、基金としてロータリー財団が創設される。
- 1928年ロータリー財団が正式に命名され、最初の管理委員会が任命される。
- 1930年財団初の助成金として、米貨500ドルが国際身体障害児童保護協会に授与される。
- 1947年国際ロータリーの創始者ポーリ・ハリスが逝去する。氏を偲んで、世界中のロータリアンが米貨100万ドルを超える寄付をロー

タリー財団へ寄せる。

- 1965年特別補助金(現在のマッチング・グラント)及び研究グループ交換プログラムの創設
- 1978年保健・飢餓追放及び人間性尊重補助金の創設
- 1981年ロータリーの世界理解及び平和基金の創設
- 1985年ポリオ・プラス・プログラムが発足する。
- 1988年世界保健総会が世界中のポリオを撲滅する目標を定める。
- 1993年世界ポリオ撲滅推進活動のおかげで5億人目の子供がポリオの予防接種を受ける。
- 1994年西半球がポリオ無発生地域として宣言される。
- 1996年財団の寄付者が100万人を数える。恒久基金新募金計画が開始される。
- 1998年設立以来、財団への寄付総額が米貨10億ドルを超える。
- 1999年10,000件目のマッチング・グラントが授与される。ロータリー平和センターの設立。
- 2000年西太平洋地域がポリオ無発生地域として宣言される。20億近くの子供たちがポリオの予防接種を受ける。
- 2002年ヨーロッパ地域がポリオ無発生地域として宣言される。財団がゲイツ世界保健賞を授与する。
- 2004年20,000件目のマッチング・グラントが授与される。恒久基金内に児童基金の創設。
- 2005年未来の夢委員会の発足
- 2007年ポリオ撲滅のためゲイツ財団から1億ドルの補助金。
- 2010年「未来の夢計画」のパイロット地域活動開始
- 2013年「未来の夢計画」世界全地域にて実施予定

【ミニ情報】

現行民法は債権の消滅時効期間を10年とする原則規定(167条)に対し、一定の原因から発生する債権については、例外的に短期の消滅時効(170条から174条)を定めています。この例外的な消滅時効を定めた170条から174条を廃止し統一化を図ろうとする中間試案が出されています。

ニコニコBOX……………

- ・IM大変ご苦勞様でした。細川ガバナーよりお礼の電話をいただきました。また田中先生からDVDをいただきました。 山本会長
- ・IM無事終了できました。皆様のお陰です。ありがとうございます。清水ガバナー補佐
- ・旭川防犯協会会長賞をいただきました。 辻本会員
- ・DVDをいただきました。 堀、原田会員

前 回	600,890円
今 回	39,000円
累 計	<u>639,890円</u>

プログラム……………

「情報集会発表」

▶**第1班**◀ サブリーダー 清水 陸
將軍において8名の出席で開催されました。リーダーは森 俊二会員、サブリーダーは私、清水です。

1. 効果の上がる会員増強

現在まで各年度の増強委員長を始め、会長が大変な苦勞をしながら会員増強に努めているが、会員数はここ数年、現状維持の状況が続いている。人口減少や経済不況が原因と思われる。現状では候補者に勧誘する場合、一度だけで終わっている場合が多い。何度も勧誘するのがベストと考えられる。この間に他クラブに入り込まれる例があったのでこの点を考え直す必要がある。又、他奉仕団体の周年記念があるため候補者への勧誘は難しくなっているが、候補者をしばって多回数進めるべきと考えられる。

2. 推薦できる会員

8名の名前が挙がり、現状の薦め方に大いに参考となる情報が話された。しかし入会には難しく大変な努力が必要であると思われる。

3. 地区会員増強委員会の報告

1月に開催された委員会では現在の各クラブ会員の状況が話され、その後自クラブの長所、短所(このクラブの長所は何か?短所は何か?)を知るためにクラブ評価をしよう。そして会員がクラブやロータリーの知識を深めて、各自が

正しくクラブを説明できるようになろう。例えば、ロータリークラブとライオンズクラブの違いやロータリーに入会して何が良かったか説明できるようになろう。等など新会員や現会員の教育と研修が必要であることが強調された。

▶**第2班**◀ サブリーダー 高田 潔
テーマ「効果の上がる会員増強」

＜情報集会の重要性＞

在籍の長い会員は、頻繁にあった情報集会(炉辺会合・家庭集会)を経験しており、通常の例会では経験できない意見交換ができるから、ロータリーの仕組みと良さを理解できる。特に新会員には効果的である。

＜広報活動の重要性＞

新聞記事に、他の奉仕団体の活動状況は、時々掲載されているが、当クラブの記事は少ない。よって、一般市民は、ロータリー活動を理解していない。

＜増強・会員数・会費＞

当クラブへの入会候補者が、他の奉仕団体に職業上の取引関係で、強力な勧誘があり入会していることがある。

現状の会員数は、留萌市の人口割合から見ても少ないとはいえない。

退会の理由は何かを分析する。その上で退会者に再入会の勧誘をしてみる。

ロータリークラブに入会すると、会費のほか、出費が多い。

＜今後の検討課題＞

- ・当クラブの体質を振り返り、反省する点と改善する点はないか。
- ・ロータリアン自らが、感動する活動を展開したい。
- ・他の人のために役立っていると実感できる活動はないか。
- ・ロータリーの良さを市民に広報する。
- ・報道機関との連携、ロータリーの友に掲載依頼する。

＜その他＞

- ・ロータリーで職業上の取引を考えてはならない。
- ・新会員の我が生き立ちだけでなく、在籍の長い会員の卓話も聞きたい。

<重要>

- ・ロータリーの標語
- ・超我の奉仕
- ・最もよく奉仕する者、最も多く報われる

▶第3班◀ サブリーダー 遠藤 光一 「効率の上がる会員増強」

- ・景気の低迷によりみんなで集う事の意識が希薄になっている。
- ・前向きな話はなく、互いに気を使う事が面倒。
- ・あまり仕事の話をするとなんとなく孤立する。
- ・呼び捨てが多く友達同士の仲良しクラブ的である。
- ・例会時での服装もマナー不足。

《ロータリーの事をもっと知ろう》

会員にとってロータリアンであることが、企業人として成長する勉強の場です。

互いの企業人としての成長と奉仕の心を育むには格好の勉強の場です。決してロータリーは安らぎの場ではありません。

- 会長になった人は新会員を3名くらい集める、そうしたら自然に会員も増える事になる。
- また、会員が1名を入会させる事が出来ないか。
- 職業分類で、空きのある分類、人物を探すのはどうか。
- 退会した方、夜間例会に誘ってみてはどうか、暇してる人もいるかもしれません。(例会費は頂きます)
- 尚、新会員入会に関する情報はありませんでした。

▶第4班◀ サブリーダー 福士幸子 「効果が上がる会員増強」

I みんなが入会したいクラブにするために

- ①現在は単なる親睦団体になっている。親睦団体からの脱皮。
- ②ロータリーのバッジを受けることの意味を再確認しよう。
クラブへの愛情・絆が薄れていないか。
- ③大人のクラブにする。

ロータリーの基本は奉仕活動である。どんな時にも奉仕の精神を忘れずに、自分の行為が奉仕活動に背いていないかをチェッ

クすることを忘れないようにする。

また、クラブでの活動は、対外的にクラブ会員としての活動であるという意識が薄れている現状がある。

④魅力ある例会プログラムの作成・実行

- ・例会出席率の向上を図る。
- ・卓話者との意見交換の場を設ける。

⑤委員会の活動を活性化させる。

現状は委員長一人で行っている。活動計画を作成するときさえ各委員会が開催されていない。

⑥内外への組織の魅力の発信

- ・クラブでの国際・地区ロータリーへの参加の促進

⑦クラブ退会者に対し、ビジターとしての出席を認める。

⑧ニコニコBOXでの情報発信を活発にしよう

II 会員増強できない理由としてよくあげられるもの

①人口の減少

しかし、羽幌は7,000~8,000人の人口に45人のロータリアンがいる。

②会費が高い

- ・魅力あるクラブにすることにより、高いという意識がなくなる。
- ・夜間例会の時には、別会計にする。

③ 時間が拘束される。

- ・魅力あるクラブにすることにより、拘束されるという意識がなくなる。

III 疑問点

①親がロータリアンであったが、子供がロータリアンにならないのはなぜか

②情報集会からの意見が、理事会に取り上げられて、組織改革や運営に生かされていないのはなぜか

最後に、第4班の会員の中には、新会員候補の多数のリストを持っているという力強い発信があったことをお伝えしておきます。